

参議院文教科学委員会、附属盲学校を視察

附属盲学校副校長 梅原無石

4月13日(木)午後、参議院文教科学委員会の議員13名と、参議院事務局5名、文部科学省から12名、東京都教育庁から3名の総勢33名による学校視察がありました。

最初に附属学校教育局の谷川教育長、参議院文教科学委員会委員長の中島議員から挨拶があり、次に皆川校長より附属盲学校の概要と沿革について説明が行われ、拡大教科書について等の質疑応答があった後、全校の見学に移りました。

専攻科理学療法科の運動療法や鍼灸科の臨床実習、高等部の点字使用している生徒の情報の授業や化学実験の授業、さわる地球儀を使つての地理の授業、中学部盲ろう生の英語の授業等を見学しましたが、参観者はどの授業にも強い関心を示し、設定した時間内で切り上げ次に移動していただくのに苦労しました。また本校の歴史資料が展示されている資料室、視覚障害者にとって使いやすい生活や学習の用具が紹介してある便利グッズサロン、点字図書、拡大図書、録音図書、さわる絵本と四種類の児童図書がある小学部図書室などでも多くの参観者が興味を示し、予定された時間があつたという間に過ぎてしまいました。

見学後何人もの人から「初めて知った」「良くわかった」「授業に感動した」等の声が上がりました。また「こういう教育には金がかかるのは当然だな」という声もありました。今回の視察では、議員の方々に視覚障害教育についての理解を深めていただけただけでなく、その中での附属盲学校が果たしてきた役割についても知ってもらうこととなり、視察を受け入れた側にとっても意義深いものとなりました。



《編集後記》

附属小学校の「ポローニア(桐)」の花が満開となりました。今日も子どもたちは、清冽な香りの紫の花を両手いっぱい抱え、「桐の花」の校歌を口ずさんでいます。

本号では、3月に退職されました齋藤佐和教授にメッセージを頂戴いたしました。長年附属聾学校校長をお務めになり、特別支援教育の発展にご尽力下さいましたことに深く感謝すると共に、益々のご活躍をお祈り申し上げます。そして、4月に校長に着任されました中村徹教授、四日市章教授、安藤隆男教授にご挨拶を頂戴いたしました。

鳥山由子附属学校教育局次長の巻頭言にあるように、大学と附属学校との連携研究は新たな教育の方向性を探る上で、今後、より一層重要になってくると思われます。そのような意味でも、今春の教育局アメリカ海外研修は大きな意味を持っています。教育局と附属11校の先生方が、それぞれの立場でデュイの原点を訪れ、交流された成果をご報告いただきました。また、附属桐が丘養護学校・吉沢祥子先生の韓国のIT機器事情についてのご報告もあり、グローバルな視点で教育を見つめ直す号となりました。

デュイに相応しい「温故知新」という新企画もスタートしました。今後、各附属学校の貴重な歴史的資料を紹介して参ります。

最後に今回より、附属盲学校・間々田和彦先生と附属小学校・青山が編集委員に加わりましたことをご報告申し上げます。(青山由紀)

発行日……平成18(2006)年5月31日  
 発行者……附属学校教育局教育長 谷川彰英  
 発行所……筑波大学附属学校教育局 広報誌  
 ポローニア編集委員会  
 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 電話 03-3942-6800  
 編集委員長……篠原吉徳  
 編集委員……生田 茂・江口勇治・菅野和恵・下山晃司  
 青山由紀・間々田和彦・大村覚男  
 デザイン……スピーチ・バルーン  
 印刷……広研印刷

